

【校長 鍛治田千文 メッセージ】

みなさん、入学おめでとうございます。ようこそ！YMCA へ。
心から歓迎いたします。

今回は顔をあわせて、おめでとうという声をかけられないのが残念ですが、来年の今頃は「あの時は大変だったね」と笑っていえることでしょう。



皆さんの中には、今まで様々なことがあり、勇気をだして、「高校で頑張ろう」と思ってYMCAに入学を決めた人もいるでしょう。その中でこのような緊急事態宣言の中、不安に思っている人、心配している人もいますが、大丈夫です。心配しないでください。この状況はいつか必ず終わります。雨の後は必ず天気になります。

YMCA学院高校の初代桜井校長が話していたことです。パンを焼くとき、小麦粉だけで焼くとちっとも膨らみません。そこにイースト菌をいれると、ふわふわでやわらかい、おいしいパンができます。純粋な粉だけではなく、違うものをいれると豊かにおいしいものができるのです。これは学校でも言えるのではないのでしょうか。同じ学力、同じ進路をめざす人たちの集団は授業もやりやすいかもしれません。でもいろいろな人がいるほうが面白く、ともすれば忘れがちになる、違うことが豊かさなのです。神様が望む、いろいろな人と一緒に生きる、支えあえる学校を私たちはめざしています。そしてあなたがあなたらしくいられる学校でありたいと私たちは思っています。

さて、高校生みなさんに新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、お願いしたいことがあります。今一番大事なことは、「スローダウン」。ニュースでも伝えているように感染のベースをおとすことです。それができれば、病院の負担が減らすことができ、多くの命を救うことができるでしょう。

そのために高校生の皆さんにしてほしいことは、

1 点目。意識と行動です。「多分自分がかからない」「かかってもたいしたことがない」と思わない。大事な家族、近くに住むお年寄り、持病をもっている人たちを思い、今は外出をしない、出会う人を極力減らすことをお願いしたい。そして、手洗いの徹底。トイレの後に限らず手洗いは今以上にこまめにしてください。電車にのることはしばらくないと思いますが、電車では小さな声で話す等高校生一人ひとりの心がけで拡大が防止されます。

2点目、日常生活においては、自粛^{じしゅく}はしても、萎縮^{いしゅく}はしないで考えてほしい。家にいる時間をどのように過ごすのか、何をするか、考えてほしいと思います。

今回のコロナ禍は、世界を想い、人類を想う機会にもなるでしょう。

コロナのことでは、どこかの国が悪いとか感染した人を責める等、偏見^{へんけん}を持つようなことは決してしないでほしい。それをするのはコロナに人類が負けることになります。コロナによって世界がもっと強くなつがる日が、ウイルスに打ち勝つ日になるでしょう。

今後、コロナのことは長丁場^{ながちやうば}になるでしょう。気は抜かない、でも気持ちをふさがない、どんなことが社会に対してできるか、考えてほしい。みなさんはその力があります。自分の力を信じて。そして学校と一緒に考えてほしいと思います。

最後に聖書を紹介します。

(コリントの信徒への手紙：1章 10節)

「皆、勝手なことを言わず、仲たがいせず、

心を一つにし思いを一つにして、固く結び合いなさい」